

保健だより

薬物乱用防止特別号

古知野高校定時制 保健室(令和6年7月16日)

若者の大麻乱用が増えています！

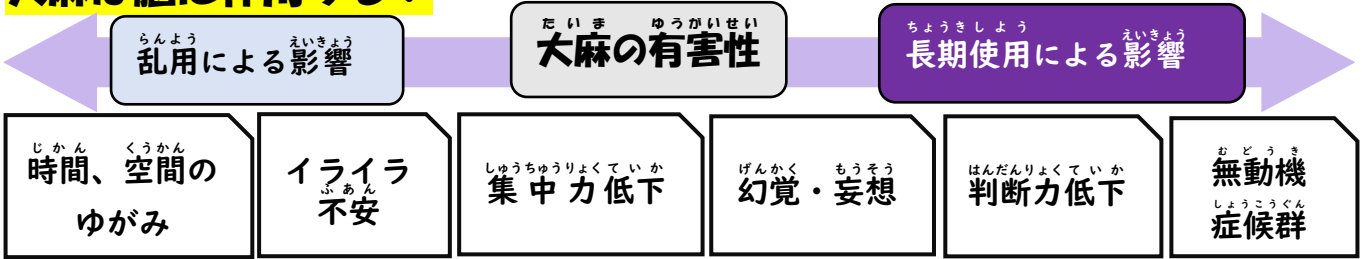
高校生の覚せい剤・大麻を始めとした薬物乱用で検挙された人数は令和4年で9名。「大麻は安全」という間違った情報が氾濫しており、若者がターゲットにされていることが背景にあります。薬物に頼らず充実した人生を送れるように正しい知識を身につけましょう。



大麻には害がない
依存しない



大麻は脳に作用する！



一度ダメージを受けた脳は元に戻らない

薬にコントロールされてしまう

危険ドラッグはネット販売に注意！

危険ドラッグは麻薬に似せた物質が含まれており、覚せい剤より危険なものもあります。



製品の注意書き例 ※合法のように偽っています

ハーブ、お香 アロマと偽る

- ◇当商品はお香として販売しております。
- ◇人体への摂取は絶対にしないでください。
- ◇未成年者の方のご購入は固くお断わりしております。
- ◇当商品は規制された成分は含まれておりません。

【参考】厚生労働省 薬物乱用防止読本 健康に生きようパート33「薬物乱用は『ダメ。絶対。』」

違法薬物は所持だけで犯罪!!

「知らなかった」は通用しない

1回だけでも乱用!!

薬物は心のスキマにつけこんでくる！



仲間外れ怖い

元気がなくて心配... コレ、一緒に使わない?

心配してくれてる



一緒なら堂々と薬使える! お金出させて薬買える!

薬物問題に巻き込まれたら…

薬物を勧める友だち・恋人は、あなたの大切な人ではありません



きっぱり断る アイ (I) メッセージ

- *私は、薬物を使いたくない
- *私は、興味がない

に逃げる、離れる

*帰らなきゃ…

おとな 相談する 大人に相談する

*専門家の力が必要

<薬物についての相談先>

愛知県精神保健福祉センター……………☎052-954-6305

愛知県医薬安全課……………☎052-962-5377

名古屋市精神保健センター……………☎052-483-3022

無料・秘密厳守

薬の正しい使い方

講義では伝えきれなかった、身近にある薬についてご指導いただきました。

ようほうようりょう
用法用量を
まも
守ろう！

問題に挑戦してみよう！！○か×で答えてみてね。

第一問

風邪をひいた時、薬を飲まなくても治ることがある。

「自然治癒力」病気やけがを乗り切るために、本来人間が持っている力。病気やけがから回復する時に働きます。なので薬を飲まなくても治ることがあります。 **答え ○**

第二問

薬は少量の水でのむ方がよく効く。

薬のみ方3つのルール
①コップ1杯の量の、
②水かぬるま湯で、
③そのまま（錠剤を噛んだりカプセルを外したりしない）のみましょう。 **答え ×**

第三問

薬ののみ方は自分の判断で変えても良い。

薬の血中濃度は効き目の現れる範囲があります。飲み忘れたからといって飲む量を変えると、薬の血中濃度が危険な範囲まで上昇し、体に悪影響が現れます。 **答え ×**

薬物乱用防止教室を行いました

6月17日、2年生を対象に本校学校薬剤師の沢田茂和先生から薬物乱用防止教室を行いました。感想の一部を紹介します。

薬物は一回でも使うと残りの人生を壊してしまうし、自分だけでなく薬で自分を抑えられなくなって他人の人生にも影響を出してしまうので、絶対にやらない方がいいと思いました。

小中学校でも薬物乱用防止教室をりましたが、今回の授業では断り方や具体的な症状など小中学校では学べなかった内容を覚えられてとてもいい時間になりました。

自分を一生苦しめるし、自分以外の家族まで苦しめる薬物は怖いと思った。

知らず知らずのうちに関わってしまわぬように気を付けたい。